

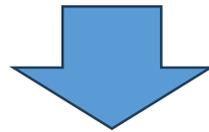


# 市区町村人材育成プログラム 週末学校

基礎自治体から日本を変える！

基礎自治体・人が**日々の暮らし**をおくる舞台

# 土地法制における市区町村の役割



**空き地、空き家**問題にどう取り組むか  
(明るい話と暗い話)

所有者不明土地の解消に向けたルールは、実はかなり充実しているが

## ◇相続土地国庫帰属制度

・・・新たに相続によって取得した土地を国に引き取ってもらうことが可能

## ◇地域福利増進事業

・・・所有者不明土地に使用権を設定し、地域の公共的な事業のために活用

所有者探索に膨大なコスト⇒採算性???  
優先順位??

# 空き地、空き家問題に取り組む市区町村の実態

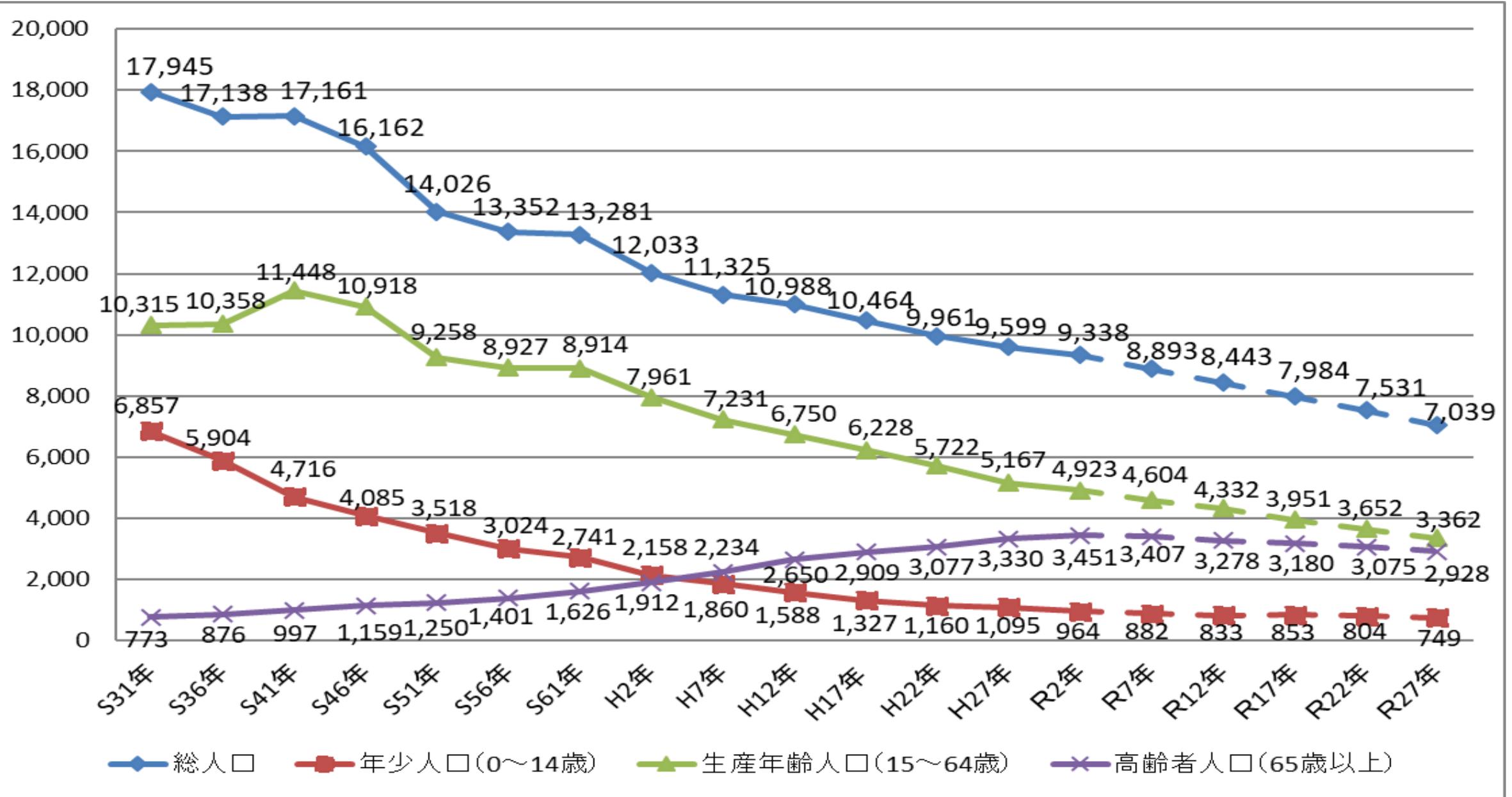
価値の**高**い不動産⇒担当は、企画政策、経済  
地域活性化の先進事例  
国からの補助金も

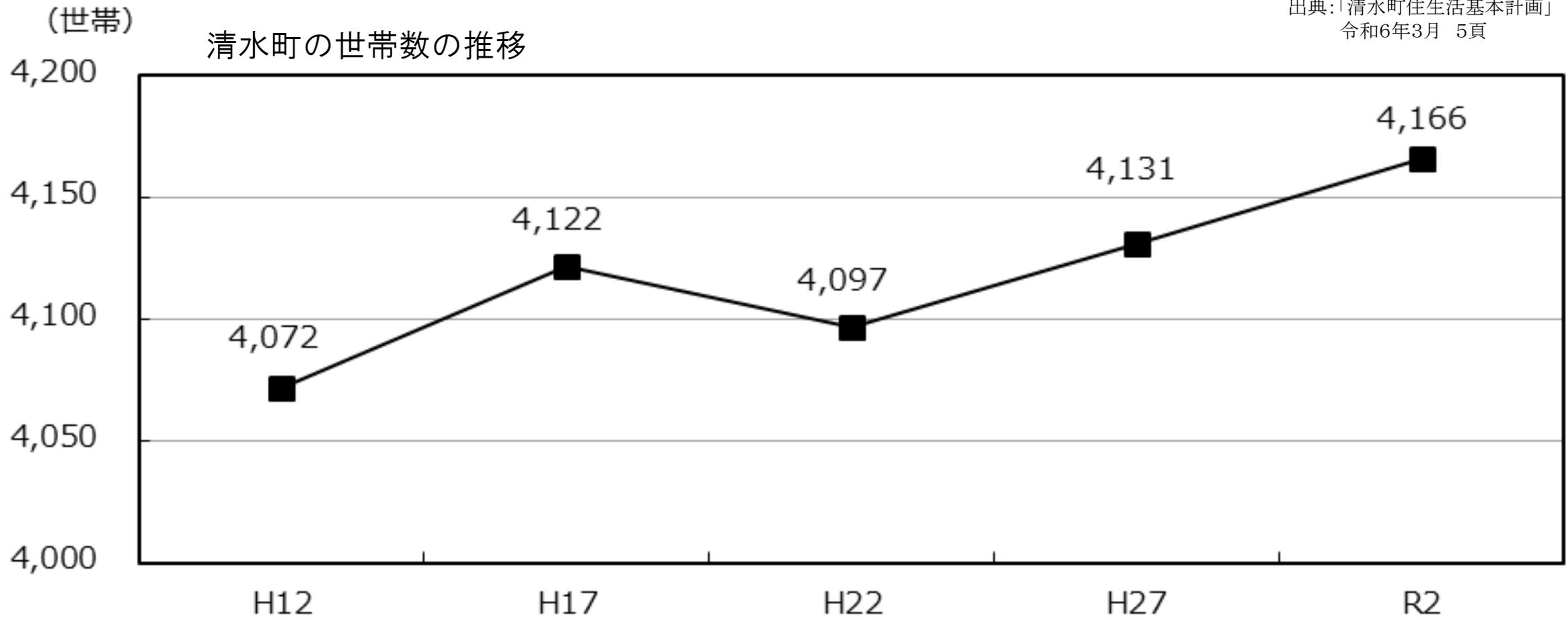
価値の**低**い不動産⇒担当は、地籍、生活環境  
注目されたくない事例  
予算も人も少ない

実際は、土地の担当部署、予算がバラバラ

# 清水町の人口推移と将来の見通し

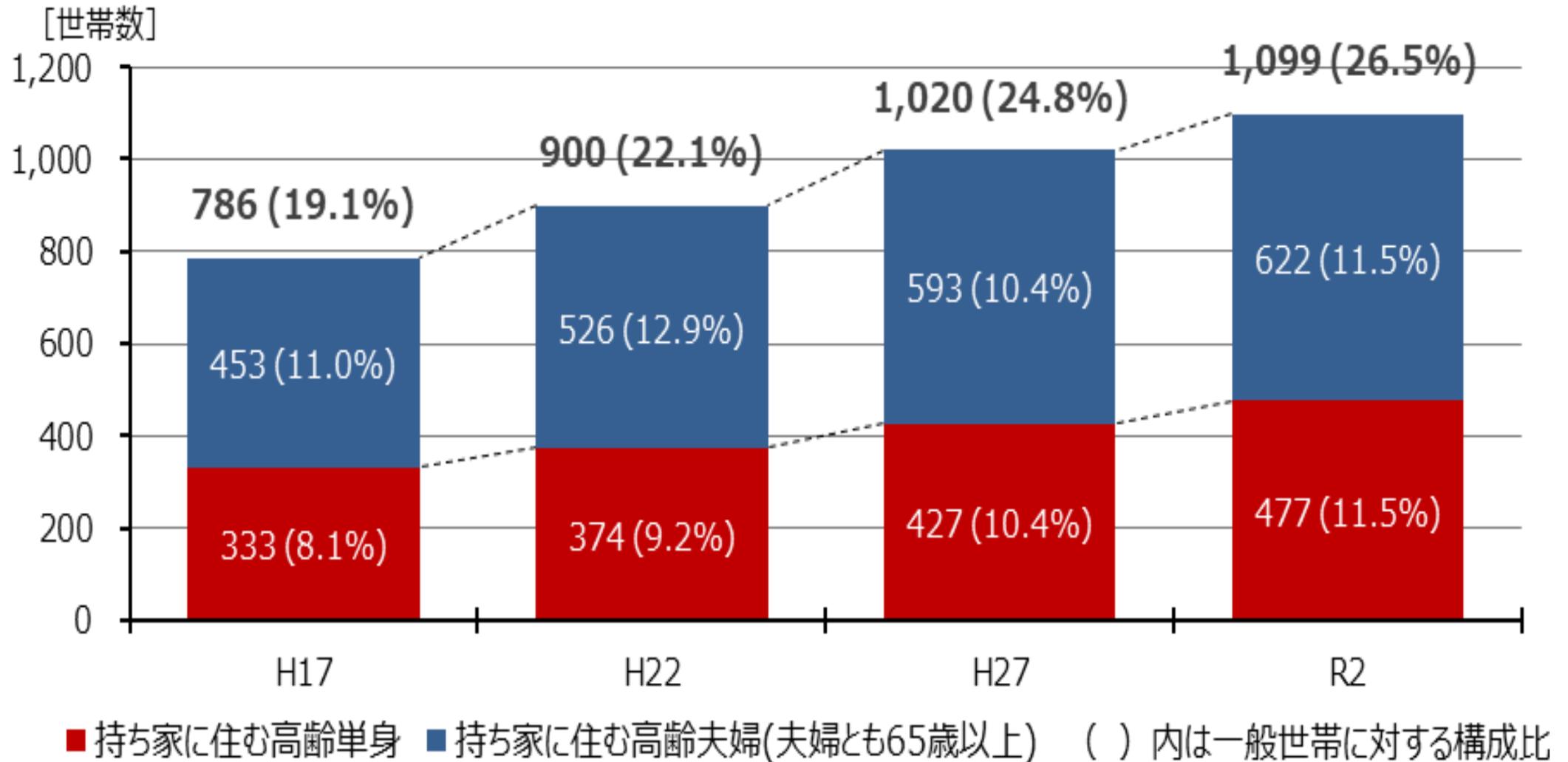
出典:「第6期清水町総合計画」  
令和3年3月、18頁





	H12	H17	H22	H27	R2	R2/H12
北海道	2,306,419	2,380,251	2,424,317	2,444,810	2,476,846	1.07
郡部	485,696	478,963	435,081	423,112	413,232	0.85
十勝管内	139,184	144,666	148,155	150,525	153,169	1.10
清水町	4,072	4,122	4,097	4,131	4,166	1.02

## 持ち家に住む高齢世帯の状況（清水町住生活基本計画）



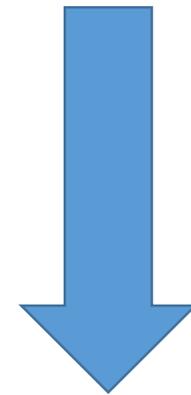
# 地方分権における補完性の原理

決定や自治はできるだけ小さい単位で行い、できないことはより大きな単位の団体で補完する

自助(所有者)

共助(近隣住民・地域コミュニティ)

公助(市区町村⇒県⇒国)



# 空き地・空き家対策の公益性

住民の財産(民事)⇒プライベート

草木の繁茂、不法投棄による管理不全  
⇒パブリック

◇**困りごと**から出発しないと、現場は動かない  
(具体的に誰が困るのか？ 所有者？近隣住民？行政？)



# 問題提起

1741自治体にヒトとカネを

困りごとの相談窓口は市区町村(法務局???)

ヒト・・・土地の担当部署の明確化(国・他団体との連携)  
仕組みの簡素化(相続、所有者探索)  
各分野の専門家の協力

カネ・・・事業⇒補助金

相談業務、調査業務への支援⇒交付税